

青森県報

号外第十四号

平成十四年三月八日(金曜日)

目次

告示

○平成十二年度青森県歳入歳出決算の要領……………(経理課)…1

告示

青森県告示第八十六号

平成十四年二月青森県議会第二百二十九回定例会の認定に関する議決を経た平成十二年度青森県歳入歳出決算の要領を、地方自治法(昭和二十二年法律第六十七号)第二百三十三条第六項の規定により、次のとおり公表する。

平成十四年三月八日

青森県知事 木 村 守 男

平成12年度青森県歳入歳出決算の説明

第1 一般会計決算の概要

一般会計の予算現額は、1兆327億7,709万4,928円でした。この額は、前年度に比較して138億7,952万2,925円、率にして1.36パーセント増加しています。

この予算現額	1兆 327億 7,709万 4,928円	に対して、
歳入決算額は	9,666億 8,927万 4,805円	
歳出決算額は	9,526億 8,440万 5,414円	
歳入歳出差引き	140億 486万 9,391円	の歳計剰余金が生じました。

この歳計剰余金から経統費運次繰越額及び繰越明許費繰越額の財源として翌年度に繰り越す額123億4,335万3,986円を差し引いた実質収支額は、16億6,151万5,405円になっています。そして、この額の2分の1以上に相当する額8億3,075万8,000円は地方自治法第233条の2の規定に基づいて青森県財政調整基金に繰り入れ、残額の8億3,075万7,405円は繰越明許費等の財源となる額と共に平成13年度に繰り越しました。

以上の決算額を前年度と比較しますと、歳入では183億2,922万1,267円、率にして1.93パーセント増加し、歳出では146億8,592万7,078円、率にして1.57パーセント増加しています。また、実質収支額は、3億5,041万5,162円減少しています。(第1表参照)

第2 一般会計歳入の状況

歳入予算現額	1兆 327億 7,709万 4,928円	に対して、
調定額は	9,781億 1,380万 9,530円	
収入済額は	9,666億 8,927万 4,805円	
不納欠損額は	89億 1,079万 3,366円	
収入未済額は	25億 1,374万 1,359円	になりました。

予算現額に対する収入率は93.60パーセント、調定額に対する収入率は98.83パーセントとなっていますが、収入済額が予算現額を下回ったのは、事業の一部を翌年度に繰り越したことにより、その財源である国庫支出金と県債が収入にならなかったこと等によるものです。

収入済額は、前年度に比較して183億2,922万1,267円増加していますが、増加の主なものには、地方交付税117億560万8,000円、国庫支出金98億4,465万1,958円、県税70億895万1,181円があり、減少の主なものには、繰入金34億3,625万6,062円、県債30億1,966万円、繰越金20億1,017万5,091円があります。

歳入決算額を構成比で見ると、地方交付税が29.73パーセントで最も高く、次いで

国庫支出金22.29パーセント、県債14.33パーセント、県税13.29パーセントの順となっています。また、歳入決算額に占める自主財源の比率は、33.23パーセントで、前年度に比較して0.65ポイント減少しています。(第2表及び図1参照)

第3 一般会計歳出の状況

歳出予算現額	1兆	327億	7,709万	4,928円	に対して、
支出済額は		9,526億	8,440万	5,414円	
翌年度繰越額は		772億	4,007万	3,986円	
不用額は		28億	5,261万	5,528円	になりました。

予算現額に対する執行率は、92.24パーセントとなっています。

支出済額は、前年度に比較して146億8,592万7,078円増加していますが、増加の主なものには、総務費138億9,314万7,879円、災害復旧費94億403万1,288円、公債費81億3,303万91円があり、減少の主なものには、教育費95億3,728万9,577円、土木費64億5,553万4,526円、農林水産業費46億5,951万9,814円があります。

歳出決算額を構成比で見ると、教育費が19.08パーセントで最も高く、次いで土木費17.93パーセント、農林水産業費15.97パーセント、公債費10.42パーセント、総務費9.29パーセントの順となっています。(第3表及び図2参照)